

### 3 住宅の建て方

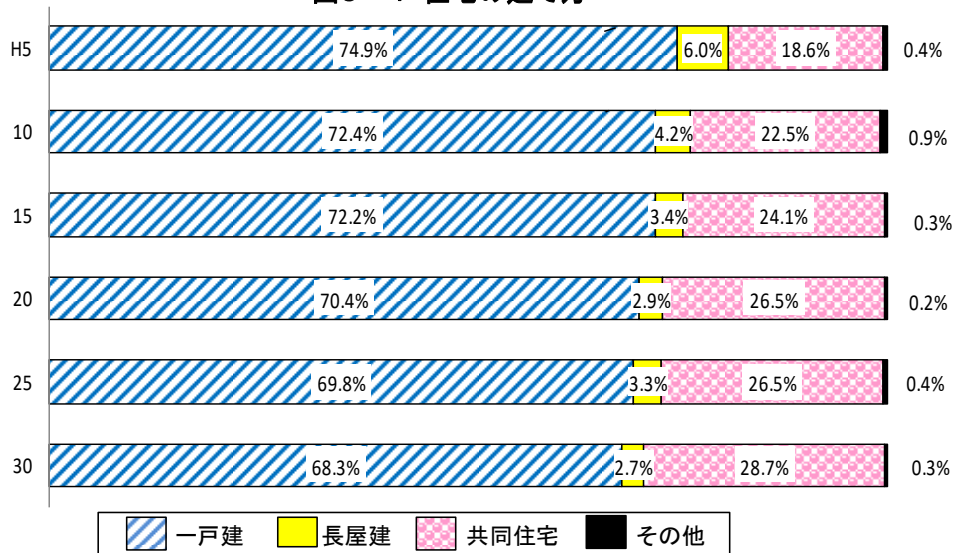
一戸建と長屋建は、住宅全体に対する割合としては減少傾向（一戸建 H5：74.9% → H30：68.3%、長屋建 H5：6.0% → H30：2.7%）にありますが、反対に共同住宅は増加（H5：18.6% → H30：28.7%）しています。

表3-1

(戸)

年次	総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
H5	518,500	388,500	31,300	96,500	2,200
10	542,300	392,400	22,900	122,000	5,000
15	557,100	402,500	18,700	134,200	1,600
20	574,000	403,900	16,600	152,100	1,300
25	578,900	403,900	19,100	153,500	2,400
30	581,400	397,300	15,500	167,000	1,500

図3-1 住宅の建て方



住宅の建て方を市町別にみると、松山市以外の市町では、一戸建の割合がいずれも70%以上を占めていますが、松山市では54.3%となっています。そのかわり共同住宅が全体の43.7%を占め、県下でも突出した割合となっています。

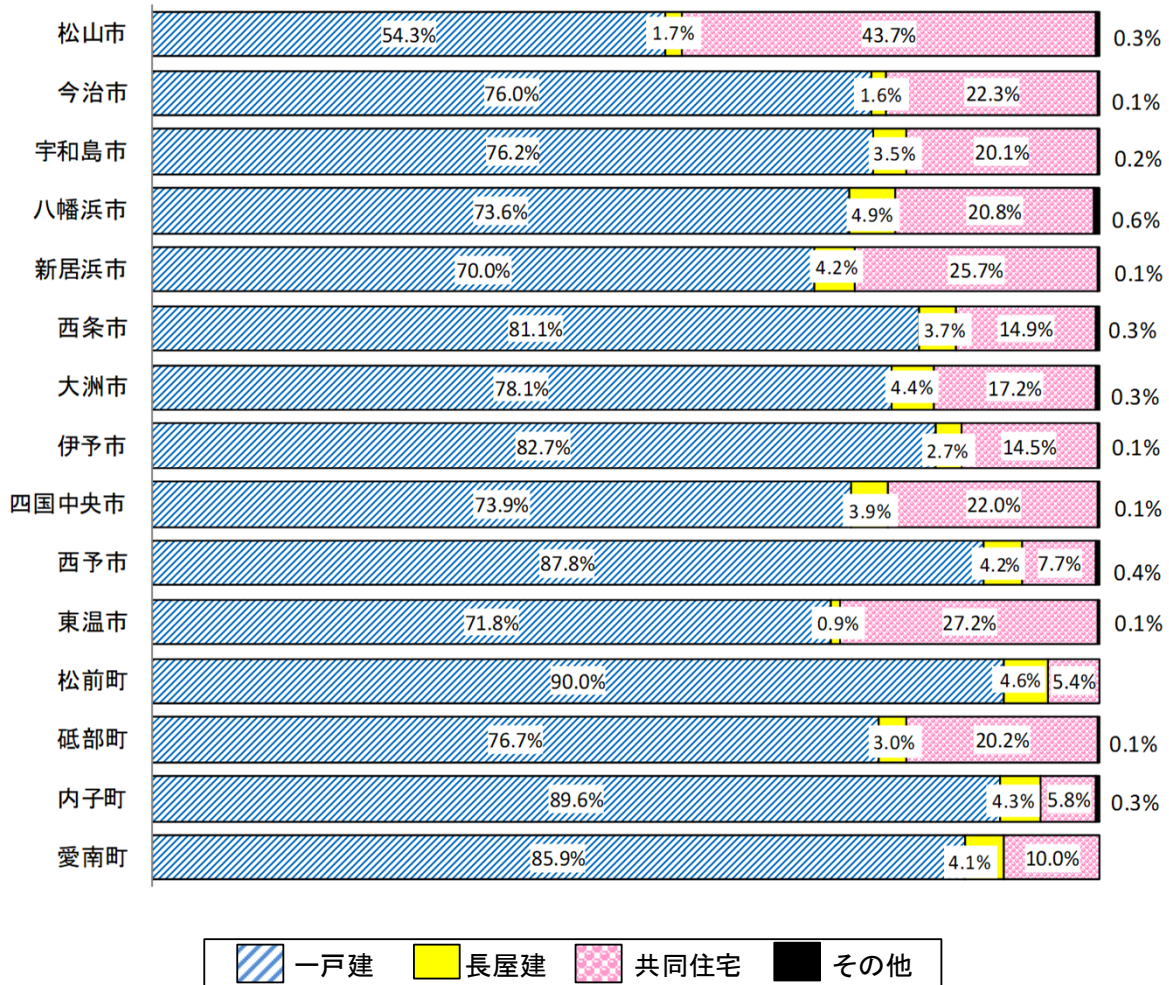
表3-2

(戸)

市町名	総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
松山市	229,710	124,650	3,890	100,390	770
今治市	65,550	49,790	1,080	14,590	90
宇和島市	30,640	23,350	1,060	6,170	70
八幡浜市	14,190	10,450	700	2,950	90
新居浜市	49,950	34,960	2,110	12,820	60
西条市	43,320	35,130	1,620	6,440	120
大洲市	17,260	13,480	760	2,970	50
伊予市	13,910	11,500	380	2,010	20
四国中央市	35,420	26,180	1,380	7,810	50
西予市	15,850	13,910	660	1,220	60
東温市	14,430	10,360	130	3,920	20
松前町	10,580	9,520	490	570	-
砥部町	8,450	6,480	250	1,710	10
内子町	6,080	5,450	260	350	20
愛南町	8,930	7,670	370	890	-

※人口1万5千人未満の町（上島町、久万高原町、伊方町、松野町、鬼北町）は結果が表章されていない。

図3-2 住宅の建て方(市町別)

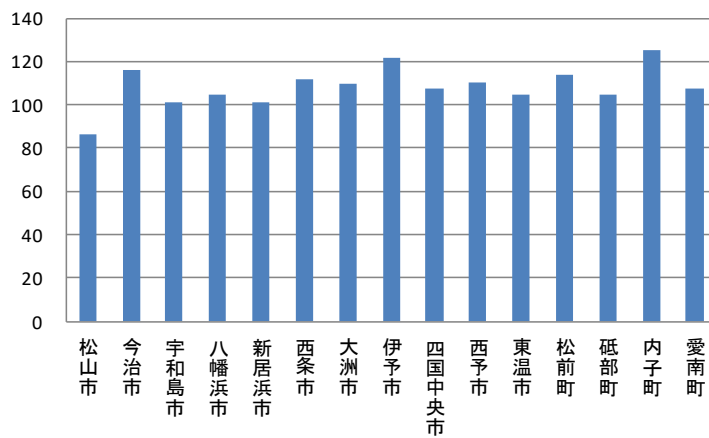


なお、1住宅当たりの延べ面積を市町別にみると、内子町が最も広く(125.35㎡)、松山市が最も狭く(86.07㎡)となっています。

表3-3 (㎡)

市町名	面積
松山市	86.07
今治市	116.12
宇和島市	100.91
八幡浜市	104.46
新居浜市	101.45
西条市	111.56
大洲市	109.44
伊予市	121.38
四国中央市	107.34
西予市	110.38
東温市	104.61
松前町	113.68
砥部町	104.39
内子町	125.35
愛南町	107.44

図3-3 1住宅当たり延べ面積(市町別)



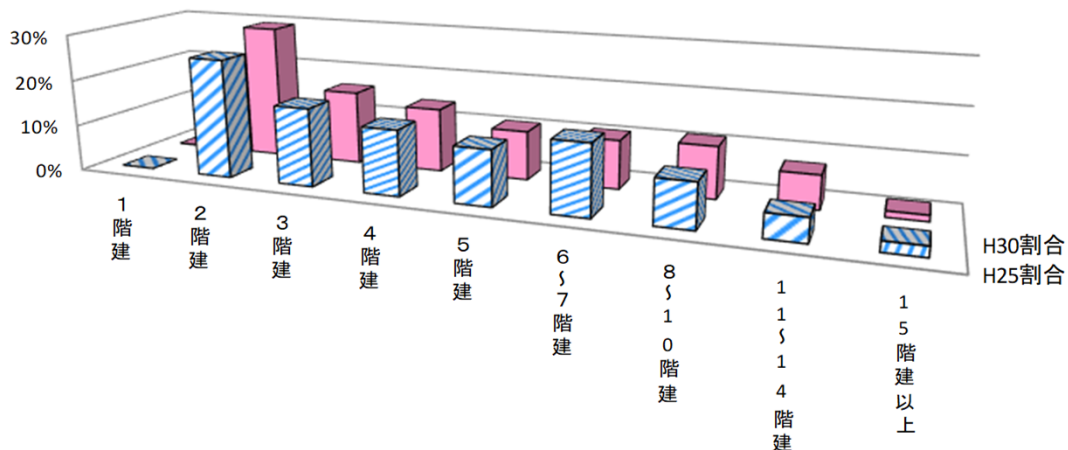
※人口1万5千人未満の町(上島町、久万高原町、伊方町、松野町、鬼北町)は結果が表章されていない。

共同住宅について、建物全体の階数別にみると、前回結果と比較して2階建の建物が3.6ポイント増、6~7階建が4.5ポイント減などとなっています。

表3-4 (戸)

階数	H25		H30	
	実数	割合	実数	割合
総数	153,500	100%	167,000	100%
1階建	0	0.0%	100	0.1%
2階建	39,400	25.7%	49,000	29.3%
3階建	25,800	16.8%	26,800	16.0%
4階建	21,500	14.0%	23,100	13.8%
5階建	18,200	11.9%	17,700	10.6%
6~7階建	23,100	15.0%	17,500	10.5%
8~10階建	14,600	9.5%	18,500	11.1%
11~14階建	7,700	5.0%	12,000	7.2%
15階建以上	3,300	2.1%	2,200	1.3%

図3-4 共同住宅の階数

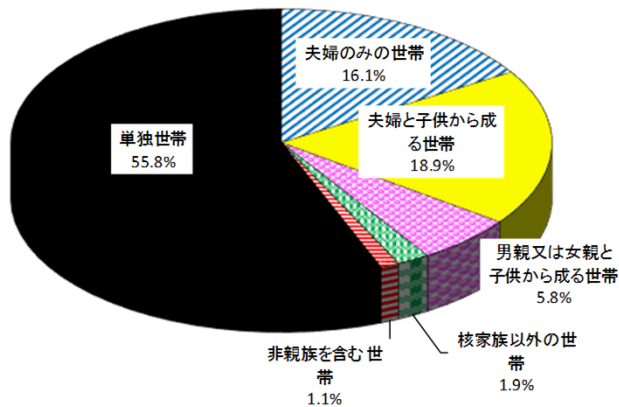


また、オートロック式の共同住宅に住む世帯を、世帯の種類別にみると、「単独世帯」が55.8%と突出して多く、次いで「夫婦と子供から成る世帯」18.9%、「夫婦のみの世帯」16.1%となっています。

表3-5

世帯の種類	世帯数	持ち家	借家
総数	36,000	16,900	18,900
親族のみの世帯	15,300	10,900	4,400
核家族世帯	14,600	10,400	4,200
夫婦のみの世帯	5,800	4,500	1,300
夫婦と子供から成る世帯	6,800	4,500	2,200
男親又は女親と子供から成る世帯	2,100	1,400	600
核家族以外の世帯	700	400	200
非親族を含む世帯	400	200	200
単独世帯	20,100	5,700	14,300

図3-5 オートロック式の共同住宅に住む普通世帯数



昭和48年には全体の8割を超えていた木造が、平成30年には4割まで減少し、近年は、防火木造が増加しています。

表3-6

構造	S48	53	58	63	H5	10	15	20	25	30
総数	399,000	434,900	458,800	490,300	518,500	542,400	557,100	574,000	578,900	581,400
木造	337,700	344,000	326,700	322,900	315,200	317,200	292,200	261,700	258,200	236,300
防火木造	26,300	35,600	47,900	55,100	77,900	71,500	98,800	130,500	132,300	151,100
鉄筋・鉄骨 コンクリート造	22,800	41,300	72,300	102,100	111,300	139,700	139,500	138,800	156,100	153,100
鉄骨造	900	2,600	3,600	4,700	8,000	8,700	24,700	40,700	28,800	38,700
ブロック造 /その他	11,300	11,400	8,300	5,500	6,100	5,300	1,900	2,300	3,500	2,200

図3-6 住宅構造の構成比推移

